

目次

はじめに：本レポートの主な解説ポイントと各章の概要

基本情報：デジタル規制、標準規格、OEMが導入している様々なテクノロジーの概要

要旨：デジタルキー技術のこれまでの進化、エコシステム、利害関係者に関する概要

最新情報：新たに締結された業務提携、最新テクノロジー、OEM各社のデジタルキーの導入/展開状況

分析結果：デジタルキーのデータから読み取った主なトレンドと分析結果

データ分析結果：OEMグループ別デジタルキーガイドのまとめ

Excelデータベース：OEMとアフターマーケット企業が提供している様々なデジタルキーの機能や特徴を調査・分析した結果をまとめている。

関連レポート

デジタルキーベストプラクティスガイド

レポート番号: 711

本書では、OEM各社や製品開発者によるデジタルキー導入の動向を分析し、設計およびテスト標準の策定を支援します。また、様々なシステムのテストおよび調査から特定されたグッドプラクティス、利便性の高い機能や今後追加される可能性の高いサービス、適切に設計されたエンド・トゥ・エンドシステムの原理、現行の技術性能に基づき構築された機能、OEMやエンドユーザーにとっての利点や制約などについて解説します。

レポート番号: #712



Cyber Security

デジタルキーガイド

車両のデジタルキーシステムは進化を続けるコネクテッドカー環境に導入される次なるアイテムと見られています。ドライバーが車両のロック/アンロックやスタートをデジタルデバイス、特にスマートフォンで操作できるようにするシステムの開発はユーザーとのコネクティビティ拡大という今なお発展しつつあるビジョンに沿ったものと言えます。デジタルキーシステムはキーフォブに代わる魅力ある代替品というだけでなく、キーの共有や取り消しを無線で操作する手段も提供します。

リモートキーレスエントリーやその後のパッシブスマートキーシステムの登場以来、顧客にとって離れた場所からロック/アンロックができること、さらに近年はキーの操作が全く不要であることの利便さが当たり前ものになってきています。これらの機能をスマートフォンやスマートウォッチに組み込んでキーフォブから完全に脱却することが次に進むべき段階といえます。デジタルキーシステムは長期的なオプションになると見られており、OEMはさらに豊富な機能を備え、従来の仕組みのように簡単に使用でき、セキュアなシステムを開発する必要があります。

本書は欧州、米国、中国編別に、毎年更新し、各地域においてOEMが提供している最新のデジタルキーの情報をまとめたExcelデータベースと、各システムの特徴や価格モデル、採用されている技術について分析したPPT/PDFレポートの2部構成となっています。

対象市場

欧州	米国	中国
日本	グローバル	その他

レポート発行頻度

毎年更新	半年更新	四半期更新	毎月更新	ワンタイム

レポート形態

PDF	PowerPoint	Excel	Online

ページ数

50+

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > どの標準規格がどのOEMによって採用されているのか
- > デジタルキーに関する法規制動向
- > デジタルキーエコシステムの最新動向および課題
- > 各デジタルキーシステムのセキュリティ性・UX面での評価

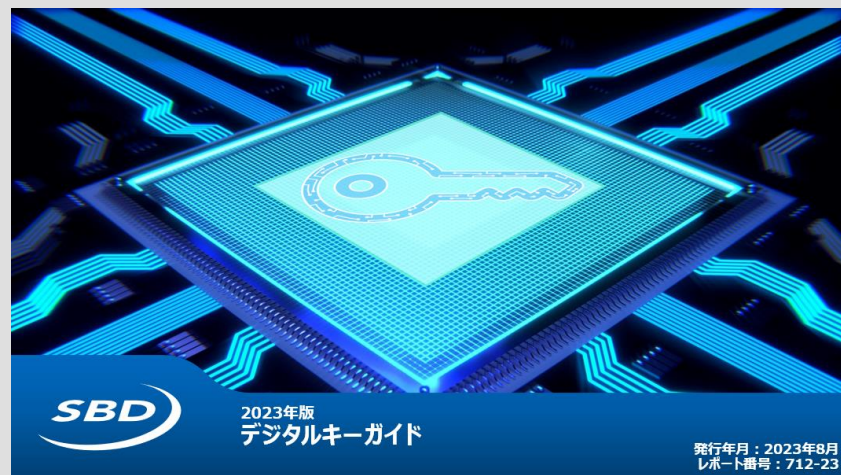
SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

100+ Reports published per year
50k+ Slides of insights, forecasts & data
4,000+ # of auto professionals who access our reports



本書に関するお問合せ・お見積り依頼 「デジタルキーガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

